

西地区会

Zoom

参加者
26名

エンディングノートを書いてみよう ～家族や社員に大切な想いを伝えるためのノート～

とき:2月16日(火) ところ:Zoom
報告者:大崎司法書士事務所 代表 大崎 裕之氏

平成 28 年司法書士登録、同年広島市横川に開業。同友会へは 2018 年 9 月入会。会社外観から社内の様子まで、リアルに動画配信でのスタート。大崎氏の自己紹介はインタビュー形式にて行い、人柄がよく伝わる明るい例会のスタートでした。



まずは司法書士・行政書士・社会保険労務士の仕事の違いについての説明を詳しくし

て頂き、休憩を挟んで、参加者全員がエンディングノートの一部抜粋を記入。

大崎氏が豊富な仕事内容から重視している「成年後見」について説明、それに対しての参加者からの質問に丁寧に答えていただきました。

エンディングノートの解説中は、過去の事例を交えてわかりやすく説明いただき、質疑応答も白熱し、経営者として何かあった時の備えが大切だということを学びました。

これを機に、「いざという時に社員が困らないようにしておかなければ。」と、思う例会でした。大崎さん、例会報告をありがとうございました。

記:(株)勝矢和裁 東 葉衣



佐伯地区会

Zoom
併用

参加者
19名

魅力と活力ある佐伯区の実現に向けて ～副区長大いに語る～

とき:2月17日(水) ところ:Zoom・(有)浜崎精版印刷所
報告者:佐伯区役所 副区長 北林 幹夫氏



今の佐伯区の現状とこれからの取り組み、新道路開通状況、AI を活用した乗り合いバス(スマートムーバー) 運行開始、アストラムライン延伸場所など、「これから街がこう変わる予定」などの未来の話が聞けて、大変有意義な時間を過ごしました。

これらの知識を友人・知人にひろめ、町全体がさらに発展するように、貢献し、期待したいと考えます。

何より、コロナ禍の状況で行動が制限され、ソーシャルディスタンスに気を付けながら日々を過ごし、苦勞している業界の TV 報道や話を聞いていると、ネガティブな思考に陥りがちになります。そんな中、少人数、少時間ではありましたが、同友会の仲間と顔を合わせて話してきたことが、一番の収穫でした。

コロナに負けず、皆様、頑張ってくださいませ。



記:(株)三方良 菊川 博司

廿日市地区会

Zoom

参加者
55名

共に生きる地域づくりフォーラム2021 Human First 人が輝く企業づくり ～障害者と共に働く 人間味豊かな企業づくり!!～

とき:2月13日(土) ところ:Zoom
パネラー:(株)山陽タオル 営業 橋本 千治氏
(有)大野屋クリーニングセンター 代表取締役 政木 孝一氏
あさみやフーズ(株) 代表取締役 山本 征義氏
コーディネーター:インターナショナルエアアカデミー広島校 校長 崔 希美氏

「知ることからはじまる」を合言葉にこのフォーラムは開催されました。同友会のめざす姿『人を生かす経営』の根幹とも言える健常者、障害者関係なく一人の人として働くことを受け入れられている3企業の代表のお話は、大変リアルな、そして人間味豊かなお話でした。

障害として見るのではなく一人ひとりの個性として捉えられ、共に成長する仲間として受け入れられているのを感じることができました。障害者雇用によって、周りも本人も

幸せな社会が作られているということにとっても感動しました。「働いて良かったと、感謝していただくこと」「笑顔を見せてくれて、それを見る自分たちも幸せになる」「一緒に頑張れる自分がいる」と、それぞれ障害者雇用に取り組んできて良かったことを笑顔で話される3名の社長さんたちがとても輝いて見えました。

今一度立ち止まり、自社が人に優しい企業なのかを問い直し、少しずつハードルを下げて企業側が努力をし受け入れていく体制をつくっていくことが大事だと思いました。

知らないことが最大のバリアとなっていました、そのバリアが溶けていくのを感じた大変有意義なフォーラムでした。



記:(株)勝谷 早川 秀樹

青年部会

Zoom

申込者数
214名

9支部合同例会「NewBeginning～新しい始まり～」

第1分科会「ビジョンを掲げ人材から人財へ共に成長する企業を目指して」

とき:2月22日(月) ところ:Zoom

報告:安佐運送(株) 代表取締役 石田 貴士氏



2月22日に開催された9支部合同例会は、広島県中小企業家同友会青年部会連絡協議会

未来共創委員会が主催いたしました。

未来共創委員会は東広島支部青年部 小田実行委員長のもと9支部から実行委員を募り、各報告者の方々と各班に分かれて報告作りを行ってきました。9支部合同例会は、横の繋がりを作り、一人でも多くの会員に支部を越えて活動するキッカケ、そして自身の学びと成長のキッカケをつくること、2023年の青全交広島を見据えた組織

作りが目的です。

石田分科会では理念やビジョンがない方は、作るキッカケを。ある方は社員さんと共有できているか? など改めて考える内容でした。実際の報告を聞き、自身が変化するきっかけや、自分・自社のことを振り返るきっかけになりました。考えるだけではなく、まず行動することの大切さ。人との関わり方や想いの伝え方を学び、自己開示をすることが大きな変化を作ることにつながるのだと改めて実感しました。

また、実際に私も報告作りに参加させて頂きましたが、一番変化したのは報告者の石田さんです。9支部合同例会という大舞台。誰もが緊張する中での発表者。その中で石田さんはやりとげたのです。そして参加頂いた方々もたくさんの刺激があったと聞いております。

今後の安佐運送(株)、そして安佐支部青年部会。ビジョンを掲げ、絆を深め、どこまでも走り続けます。

記:(株)大栄クリーナー 中田 憲一

企業変革支援プログラム

企業変革支援プログラム ぜひ活用を!



自社の経営課題を明らかにする、企業変革支援プログラム。

まずはSTEP1で自己診断。

経営課題の変革と実践を、STEP2が支援します。

変革に必要なことは「気づき」です。
ぜひ、自社の変革の一助としてお使いください。

お問い合わせは事務局まで

編集後記

3月11日、早いもので未曾有の大震災から10年が経過しました。あれだけ恐怖を感じた災害も時間の経過とともに忘れつつある方もいらっしゃるかもしれません。

10年経過をひとつの機会として今一度身の回りのチェック、確認をしませんか? 調べてみると、長期保存できる水、携帯用トイレ、保存食など色々便利なものが販売されています。私自身も今回いい機会だと思い、会社でミニ発電機を購入しました。

南海トラフ地震はマグニチュード8~9クラスが

70%~80%の確率で30年以内にくると言われています。もしかしたら明日くるかもしれません。

どこまで備えれば安心か...というのは正直難しいところではありますが、「備えあれば憂いなし」ということで、出来る方が出来る範囲でやりましょう!! この記事を見たあなたもこれをきっかけにぜひ!!



(広報委員 亀山 篤)

GO WEST

新しいことへの**チャレンジ** 未開の地へ

【企業 PROFILE】

創 業：1982年3月

会社概要：和裁縫製及びプロの和技能士育成

【(株)勝矢和裁】

所在地：〒733-0033 広島市西区観音本町 1-14-9

T E L：082-299-2050



(株)勝矢和裁
取締役 東 栞衣 氏



●はじめに

今回の「GOWEST」は、(株)勝矢和裁さんへ訪問させて頂き、取締役である 東 栞衣 氏にお話を伺いました。

●(株)勝矢和裁の事業内容

(株)勝矢和裁は、昭和57年3月に和裁学校「勝矢和裁学院」として創業され、その後生徒である和裁士を在宅の外注先として組織化し、平成15年に(株)勝矢和裁として着物製造業に業態変更されました。和裁縫製(着物の仕立て・お直し)及びプロの和技能士育成を行い、全国の呉服店から受注されています。

技術力・対応力・提案力に定評があり、全国から縫製のご依頼を頂いています。

●新型コロナウイルスによって

2020年、新型コロナウイルスの到来により、(株)勝矢和裁創業始まって以来の危機が訪れました。3月には海外の工場との輸送を行っていた飛行機が全便欠航。着物の受注や納期は決まっているため、なんとかあちこちに掛け合って成田空港から輸送することになりました。また、4月になると、国内の取引先が全国で一斉休業。その後、首都圏を中心に1か月近く休業され、6月・7月と、どんどん目の前の仕事がなくなり、国内の仕事は70%減少しました。

仕事がないからどうするかと考えた時、「モノとカネは

ないがヒトはいるじゃないか、今までやりたかったことを片っ端からやってみよう！」と、奮起され、YouTubeの開設や、ロボホン専用の着物や浴衣生地マスクの製作など、社内で様々な新しいことに取り組んでいったそうです。

●オリジナル着物コート

新しいことにチャレンジしていく中、ロボホン用の着物製作をきっかけに、社員の中から出てきた案の一つが「オリジナル着物コート」でした。

勝矢和裁では、新卒採用で一から和裁士を育てていますが、そうした会社は今では全国でとても少なくなっています。その若い和裁士の既成概念にとらわれない柔軟なアイデアから、それぞれが着物コートのデザインを考え、自分で試着しながら商品をPRした動画を作り、それを



社内案内の様子 整理整頓がしっかりされています

